



竹田 英司

「竹田さんの英語はイギリス英語ですよ? c a nを『キャン』ではなくて『カン』って発音しますよね?」

4月に東京都内であったVリーグ・プレーオフ決勝を終え、帰りの新幹線で初めて金子聖輝選手に話し掛

けられた。

確かに私は妻の影響でイギリス英語に近い発音だが、わずかな違いを指摘した、その感性に驚いた。セッターは野球に例えれば、捕手だと個人的に思っているので、鋭い観察眼はセッターにふさわしい。

その金子選手はゴールデンウィークに開催された全日本男女選抜大会(黒鷲旗)で、先発セッターを任せられた。しかし、要所でスパイカー陣と呼吸が合わず、試

金子選手 大きく成長を



黒鷲旗大会で中島選手④にトスを上げる金子選手(5日)

合中に交代を命じられた。落ち込む姿に先輩たちが「明日は明日の風が吹くぞ、金子!」と励ましている。それを見てあらためて良いチームだなと実感した。

「かまってモンスター」のニックネームを持つ金子選手。私にも話し掛けてほしいような目で見てきたが、何と声を掛ければいいのか分からなかった。私分的な外れなことを言った。

「明日は明日の風が吹くは、もともとの英語でTomorrow is another day. 明日は今日とは別の日だ、ということだ。分かったな」

金子選手は「そうですよね、明日は今日とは違う日にします」と言い残し、少し和らいだ表情でホテルへ戻っていった。チーム最年少の21歳。まだまだ成長の余地がある。いつかオリンピック代表になって世界にはばたけ! 金子選手!

(JTマネジャー)

